

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ホップステップ幸校		
○保護者評価実施期間	2026年3月3日		～ 2026年3月13日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	39	(回答者数) 22
○従業者評価実施期間	2026年 3月 18日		～ 2026年 3月 18日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	3	(回答者数) 3
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 3月 24日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	「子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。」こちらの項目で全員の方に「はい」と答えていただいております。保護者様への日々のご様子のお伝え等は職員間で情報を共有し合い、より丁寧に行っております。	更新面談だけではなく、保護者会の開催や保護者参加型イベントなどを通して、職員との関係性の構築に力を入れております	関係機関との丁寧な連携を図り信頼関係の構築を図ってまいります。
2	「子どもは安心感をもって通所していますか。」(保護者用設問27)に対して、全員が「はい」と回答していただけたこと。	子どもたちの支援を行う上で関係性の構築は欠かせないからこそ、遊びや運動を通じた関係性の構築について、社内の研修等を通じて自己研鑽を図っている。	スタッフ間で支援の仕方ではばらつきがあるため、より統一感をもって子どもたちの支援ができるようにする必要がある。
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	「放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会があるか。」(保護者用設問11)に対して、「どちらともいえない」「いいえ」が過半数を超えた。	地域の放課後児童クラブとの交流については、当事業所へ通所している児童特性や個人情報の観点から、関わりを持つ機会を作れずにいる。	事業所近くの放課後児童クラブの施設長と連携を図り、実施に向けて検討をしていく。また、実施が難しい場合は「交流の場」について川崎市へも情報提供を求める。
2			
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 ホップステップ幸

公表日 2026年3月24日

利用児童数 39

回収数 22

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	20	1	1	0		
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	19	3	0	0		
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	11	9	2	0		
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	16	6	0	0		
適切 な 支 援 の 提 供	5 子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	20	2	0	0		
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	21	1	0	0		
	7 子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	21	1	0	0		
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	21	1	0	0		
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	21	1	0	0		
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	21	1	0	0		
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会がありますか。	3	14	5	0		
保 護 者 へ の 説 明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	20	2	0	0		
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	22	0	0	0		
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	17	5	0	0		
	15 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	21	1	0	0		
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	20	2	0	0		
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	20	2	0	0		
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいの支援がされていますか。	13	9	0	0		
19 子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	18	4	0	0			

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	22	0	0	0		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	20	2	0	0		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	21	1	0	0		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	16	5	1	0		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	17	5	0	0		
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	19	3	0	0		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	20	2	0	0		
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	22	0	0	0		
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	21	1	0	0		
	29	事業所の支援に満足していますか。	22	0	0	0		

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日			
ホップステップ幸校		2026年3月24日			
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	2	1	活動スペースは基準を満たしているが、遊び方でグループ分けを検討し、ゆとりある空間を確保する	
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	1	2		中途採用等に力を入れる
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	2	1	物の配置等をしっかりと決め省スペースでの収納をする	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	2	1		物の配置を決め、スペースの確保に努める
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	2	1	職員が一人付き添う事・またマット等でパーソナルスペースを確保する	
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	3	0		
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	3	0		
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	3	0		
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	3	0		
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	3	0		
適切な支援の提	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	2	1		1か月ごとにプログラムは決定しているので、共有ツールを使用し公開するように務める
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	2	1		アセスメントの結果が担当者間での共有に留まっている。今後は 職員会議での事例検討 を増やし、全スタッフが共通の理解を持って支援にあたるよう情報共有を徹底する」
	13 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	2	1		計画作成後の共有が書面確認に留まる場合がある。全職員が共通理解の下で支援に当たれるよう、 朝礼や終礼での周知を徹底 するとともに、支援の優先順位や配慮事項をまとめた『支援のポイント集』を共有し、チーム全体の質向上を図る。
	14 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	2	1		個別支援計画の内容は全職員に周知しているが、現場での具体的な声掛けや対応が 職員間で微妙に異なる 場面がある。今後は、計画に基づいた具体的な支援手順（マニュアル化や事例検討）を共有し、誰が担当しても一貫した支援ができるよう徹底する。
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	2	1		モニタリングの精度を高めるためにも、計画の目標に対する具体的な反応や変化を詳しく記録する習慣を強化する
	16 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	2	1		地域連携の項目において、学校や相談支援事業所との連携内容が現状報告に留まっている。今後は 関係機関との情報共有をより密に行い 、地域全体で子どもを支える一貫した支援内容を計画に反映させる体制を強化する。
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	3	0		
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	3	0		

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	2	1		活動内容がマンネリ化する傾向がある。職員間でのプログラム立についてのMTGを定期的に行い、新しい療育プログラムの導入を計画していく
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	2	1	スプレッドシートやワークスケジュール等を使い役割分担の明確化を図っている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	3	0		
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	3	0		
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	3	0		
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか。	3	0		
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	3	0		
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	3	0		
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	3	0		
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	3	0		
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	3	0		
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	2	1		現時点で、障害福祉サービス事業所等へ移行した事例がない。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	3	0		
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	1	2	やりたいが、まだ至っていない	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	2	1	やりたいが、まだ至っていない	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	3	0		
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	3	0		
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	3	0		
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	3	0		
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	3	0		
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	3	0		

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	3	0		
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	3	0		
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	3	0		
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	3	0		
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	3	0		
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	2	1		現在は事業所内での活動が中心となっている。今後は地域の公園清掃や公共施設の利用、 地元の商店での買い物体験 などを増やし、子どもたちが地域社会に触れる機会を創出するとともに、事業所の存在を自然な形で周知していく
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	3	0		
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	3	0		
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	3	0		
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	3	0		
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	3	0		
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	3	0		
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	3	0		
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	3	0		
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	3	0		